



エピソード4

# きれいなもの：雷

4月30日(2日目) 大磯・小田原間の梅沢村

小雨が降ってきた。馬から駕籠に乗り換え、梅沢村へ。

梅沢村でひと休みしていたところ、小雨が大雨に！しかも、雷鳴までとどろきはじめたではないか！

実は・・・予は雷が嫌いなのだ。家臣にはいさ<sup>いさ</sup>諫められるし・・・誠に残念。

ところで、後光明天皇も雷がお嫌いだったそう。帝は、雷が鳴ると紫宸殿に上って恐怖に耐える。それを何度も繰り返して、ついに雷嫌いを克服されたそう。

よし！予も帝を見習って、ひとつ頑張ってみようかの。



景泰字より諫めぬ  
性雷を嫌ふて甚畏縮  
半四郎の予は少し休む小り暴雨た雷す方友の  
昔後光明天皇  
實二残念なること也

図は「(東海道五十三次など)」の「橋立雨中雷」  
(勝見宗左衛門家文書 当館蔵 B0037-00661)より